

自分の今の生活

岩見沢市立明成中学校 三年 佐藤 結香

今、みんなの机に置いてある教科書や文房具は、皆さんの勉強を応援するために国から贈られたものです。大事に使いましょ。

小学校に入学したとき、担任の先生からそんなことを言われていた気がする。当時の私には、それが税金のおかげだということはわからなかったと思うが、国からプレゼントをもらえたことはうれしかった。

私たちは生活するにあたって、多くの税金を払っている。子供の私たちにも馴染みのある『消費税』、お金を稼ぐようになると『所得税』、家や土地を買えば『固定資産税』、自動車の車検証を持ては『自動車税』など、税金の種類は様々で、せっかくお金を稼いでいるのに税金で取られてしまうのは少し損したような気分だった。「税金が減れば、国民の負担は減るのだろうか」と疑問に思った私は、現在税金が何に使われているのか、無くなったらどうなるのか調べてみた。

税金の使い道は多岐にわたる。学校で使う教科書や実験器具、体育用具の提供や、将来に役立つ新しい研究や開発、地域のゴミの処理や警察・消防・救急の運営、道路や橋の整備や医療費など、調べれば調べるほど様々な使い道が出てくる。そしてこれらの多くが自分の生活に強く関わっている。もしこれらが無くなってしまったら生活はどうなるのか。学校で授業を受けるには今までよりずっと多くのお金を払わなくてはいけなくなり、お金がある人と無い人で教育格差ができる。お金が無ければ救急車に乗ることもできない。何か災害が起こっても、地域の復興支援どころか、救助活動すら行われない。道路もろくに整備されず、事故が起きても誰も対処できない。考えてみると怖くなった。

税金は、私たちの生活の多くを支えており、それが無くなるということは、私たちの生活の大きな支えが無くなるということだと気づかされた。私は今まで、税金は「国」に払っているものだと思っていた。実際、税金を集めているのは国なのでその認識は間違っていない。しかし、今回の作文を通して税金は国でなく、「自分の今の生活」に払っているものだと思った。大人になったら、ちゃんと働いて、納税しようと思う。

未来の「自分の今の生活」をしていくために。